

磐城時報

石城郡磐城町四丁目
印刷所 石城郡磐城町四丁目
電話 二五五
代印所 石城郡磐城町四丁目
電話 二五五
印刷部 石城郡磐城町四丁目
電話 二五五
電話部 石城郡磐城町四丁目
電話 二五五
電話部 石城郡磐城町四丁目
電話 二五五

四倉、久之濱兩代表 圓滿妥協を申合す

きのう福島市で會見 縣でも嚴重な方針を緩和

昨報四倉、久之濱兩漁業組合の角度、又四倉の角網は夏職（九月）網大敷網は何れも免許期間に達し（十月三十日限り）となつてゐるが、反あること發見され、喧嘩兩成若し四倉組合から出願があつた敗として縣から嚴重なる警告を秋職（十月一日から十二月末日）發せられたが、今後更に兩者が迄（の延長許可は既に許可を得確執を續けるに於ては縣は斷然である豊間村大敷網に影響する許可取消し處分に出づる方針と事甚大であるからといふ理由でなつたので久之濱組合代表山田四倉の秋職にまで延期に反對の縣議、四倉組合代表野崎縣議の陳情をなした。

縣に陳情

豊間村でも 四倉角網について

四倉、久之濱兩組合の紛糾は漸やく圓滑裡に解決するに至つた事別項の通りであるが、今度は石城郡豊間村漁業組合で横槍を入れるに至つた、即ち遠藤組合長は二十七日出縣し野上商工課長を訪ひ四倉、久之濱の角網大敷網は認可の範圍を越えないやう縣に於て充分に監視して貰ひは之れを諒し引下つた。

縣費支辨の四倉港 更に修築豫算計上方陳情

三縣議きのふ出縣 海軍紀念日 平町の各學校

石城郡四倉漁港の縣費支辨港灣編入問題は關係地方から多年要望されて居たが既報の如く去る二十四日付で編入告示を見たので地元四倉町では大に喜び新妻町長及委員吉田壽三郎町議外五名、漁業組合代表者二名は野崎名、縣三縣議の案内で二十七日午前出縣金森内務部長、淺見日午前出縣金森内務部長、淺見土木課長と會見し感謝の意を表す一方同港修築豫算を明六年度に是非計上されたいと陳情した、之れに對して縣は充分考慮する意向を漏らしたので一同祝賀式を盛大に舉行

石城郡醫師會 役員決定

石城郡醫師會總會は二十七日午後一時から平町常磐銀行支店に開き役員改選の結果左の如く決定した

- ▲會長 酒井國三郎 ▲副會長 清水廣政、大森勇 ▲理事 藤田平次郎、松村鐵郎、合津重世、若松信吾 ▲評議員 矢吹大輔、村上則祐、木村守江、小松金吾、村山茂太郎、小林美定、門馬倉次郎、木村寅次郎、實川彌太郎、佐藤庄一 ▲縣醫師會代議員 酒井國三郎、根本莊次郎、齋賀讓、島田兼吉、同豫備議員 鈴木亮外四名

激增した傳染病 平町で豫防の注意書配布

警戒 銀行 休業續行

平署管内各町村共俄かに傳染病患者發生を見るに至つたため平署並に各町村役場衛生課に於ては豫防と警戒に努力中であり近くは注意書を配布する等である事は昨報の通りであるが、平署管内各町村にて去る一月以來發生した腸チブス患者三十三名に達し其他の傳染病三十三名にして縣内のチブス患者二百八十名を思へば甚だしき多數に達してゐる。而して昨年度同期間内の患者に比べると實に平署管内のみにて二十一名を増加したわけであるが、今回一時に患者の發生したのには驚かしてゐたためであらうと當局は語つてゐるが、兎に角此際徹底的の豫防方法を講ずるため昨報の如き豫防心得の實行を奨める外之等傳染病は昆虫發生によつて更に媒介の危険があるとして各所に石油乳劑の撒布を奨め蠅其他の驅除を計る等左の如く縣令の抜萃書を配布する

平署の犯罪

逐年増ゆる

平警察署管内に於ける犯罪發生件數は大正十四年度には千四百三十五件であつたが、昭和三年度には千六百二十三件、同四年には千五百二十一件で最近犯罪増加の傾向を示してゐる、犯罪の最も多いのは窃盜で一ヶ年六百件以上に達し、第二位が詐欺で二百四五十件、次ぎは詐欺の實行を奨める外之等傳染病は昆虫發生によつて更に媒介の危険があるとして各所に石油乳劑の撒布を奨め蠅其他の驅除を計る等左の如く縣令の抜萃書を配布する

節句の飾物などには ふり向く人もない

鯉のぼりも樹たぬ平町 不況に商人連も呆れる

平地方は舊曆によるので目下五月の節句を控え各商店共武者人ない、例年なら初夏の空に數十形や鯉に店頭を賑はし殊に本町尺の鯉や幟が豊に翻つて見られ通りは何處を不景氣風が吹くものに今年は一方向淋しく店の陳列の形も素晴らしい宣傳振列のへらなないのも當然を思はせりを見せられて、全く素通りの客が多くなり、客があると思へば形もばかりの安物を買つて行くに過ぎない有様で、如何に儲けなしの原價販賣宣傳も更に効なき模様であり、従つて一般家庭でも大きな處乃至は初節句の如き特殊なものも別として余

永山酒店の 營業ぶり

商署のモダーンな組織の合理的なる事において人々を驚嘆せしめてゐる銘酒由良之助の醸造元平町永山酒店主永山勇吉君の組織の一例としてうなづかせるものは自分自らが月給制度である事出張の際の旅費日當宿泊料を規定しある事等々でこの最も面白い話は過日繁忙の折、妻貞子さんを手に傳はしたとき一時間十錢の割合で支拂ひをなし感嘆を發せしめたこと、父親と平氏、別石城郡酒造組合長に須賀川町へ出張を依頼した際手當を差上げさせようといつて「馬鹿にするな」と御機嫌をそこねられその理由を説明して吹き出させたといふ珍談があつたことなど、現代の商人には習ふべき点が多からうとある人の話

幼児轢かる

石城郡勿來町大平自動車部トラックを同家の運轉手大平好治が運轉二十七日午前八時頃同郡湯本町字上町内を疾走中遊戯中の同町字上町國之助二男比佐正一（三ツ）をさける間も無く轢倒し顔面其他に負傷せしめた、正一は同町入山病院で治療中であるが生命には別條ない

星の想出

齊藤映綠
淋しき夕丘に山出りや
暮れゆく空に星一つ
君に別れたあの宵も
丘にはつちり一つ星
今宵もやつぱり悲しき
星は想出悲しみの

いちご 惠美子

明日あたり初とりせんといふ
母のこけ聞え來る苺畑に
朝まだき畑に入りて苺つむ手
にはふり落つ露の冷たき
朝なげに初とりし實の清らか
さまつみ佛に供へん我は
この日頃朝つと起きぬわが母
は苺つむるをつとめぬかに
(昨日誤解の分再載)

農試場の いちごトマト

苺、トマトが平町その他石城農試分場から盛んに販賣されてゐる、今年には主苺水、ジャム等を製造してゐるが、百々當分二十餘約二百五十貫賣れる見込で六月中旬からは百々十二貫トマトも既に百々三十貫で二貫程賣つたが何れも賣行が良いので同場では大喜びである。

▲差押物公賣 石城郡
小川江筋普通水利組合では四年
度組合費の滞納整理中であるが
六名がどうしても納めぬので差
押へを執行する六月三日組合事
務所で之れが公賣を行ふ。

▲泥酔者検束 石城郡
赤井村宇山八尾源八(三八)は二
十六日午後三時頃平町字十五町
目園休事務所に泥酔して入り込
み暴行を働いたので平署に検束
された。

町田平
さぐち
店物果

榮共ト存共△
融金ノ易問△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意識△

磐城無盡商會

所取取 - 所ル至△
寸下込申モデ時何△
スマリ慕ヲ會密ズエ絶△

貸家あり
平町字新川町十七番地
商店向き一ヶ所
家賃 十四圓五十錢
何れも水道の便あり
平町新川町(電話一三三番)
中野勇吉

タクシーの御用命は
新しい氣持のよい
昭和タクシーへ
電三四三番

夏の學生服

當店特製の霜降
小倉服が豊富に
取揃ひました。
是非御用命の程を。

小學生 60圓
全(極上) 110圓
中學用 215圓

平二 なかや洋服店 電203

店員募集
一、實業家志望者
二、年齢十四才位
三、住込、通勤自由
四、給料其他本人來談

平町田町卅六
永山酒店

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒「**栗守酒**」
朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は睡眠の助力
栗守酒特約店 **大平屋薬店**
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電四六三)

**誰れでも
出来る
懸賞投票募集**

極東オリンピック大會の
優勝國 豫 想

**第九回極東オリンピック大會は二十四日から
明治神宮外苑に開かれました。スポーツ萬能
の時代として今や空前の人氣を呼んでゐます
此の機に際し弊店では「極東の覇權は何國か
?」と題して其豫想投票を懸賞で募集致しま
す、日本勝つか、中華勝つか、左の規定によ
つて御投票下さい。**

◎懸賞規定
一、投票は官製ハガキに住所氏名を明記し裏
面に、「優勝豫想國名一國を記入の事」
宛名は平町字一丁目(常盤屋時計店)
一、投票締切は五月三十日消印のあるもの迄
一、正解者多数の場合は抽籤により賞品を贈
發表は六月十日磐城時報夕刊紙上

◎賞品
一等 銀側懷中時計 一名
二等 美術置時計 二名
三等 精工合製目醒時計 三名
四等 大型銅メダル 五名
五等 末廣 十五名

(以上常盤屋時計店頭に陳列)

賞

平町一丁目
主 常盤屋時計店
電話三三九番
後 磐城時報社
後 常盤毎日新聞社

平町紺屋町
吉田眼科病院
電話六八番
◎免狀所有看護婦任用

醬油と味噌

山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七三番
振替東京六八三二番

平町田町(電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 雄
內科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

一九三〇年式の浴衣御案内
粹で! 高尚で!! 現代的な!!!
婦人俱樂部浴衣 昭和調婦女界ゆかた
リック浴衣 繪羽模樣構成浴衣
外十數種豊富に取揃へて
陳列致してあります

洋傘と本セルの特賣
三井呉服店

和洋銅鐵金物問屋

釜屋商店
諸橋 守次
諸橋 元三郎
電話九番・一三九番

平看護婦會
會長 清野キヨ
平町字南町(電話三〇七番)
◎看護婦派出の需めに應じます